

自主防災

だより

防災倉庫・資機材配備完了

池小校区の4つの自主防災組織、建石町、大和町、城南、ザ・ライオンズ池田の各防災会に、防災倉庫と防災資機材が配備されました。

平成20年度から本格的に始まった池田地域コミュニティ推進協議会防災部会の事業は、初年度は自主防災組織の設立啓蒙、次年度即ち今年度は防災組織の強化、来年度は組織の合同訓練と3ステップを順次展開していき、校区の防災体制整備に貢献することを目的としています。

20年度には上記4組織が設立、今年度は組織強化の一環として、各防災会に防災用材の配備を計画致しました。そして池田市危機管理課や関連部門のご指導を受け、この度池田市地域分権事業費により、非常用発電機、大型炊出し器、簡易テント、投光器等の防災資機材10数点と、それらを格納する倉庫の配備が完了致しました。

各防災会では、早速それらの資機材のテスト使用を開始しています。例えば大型炊出し器は一度で30リッターの湯を供給できます。これを用いて非常時用米飯や芋煮等をつくり、地域の人たちが参加するこのような防災資機材の使用訓練は、ご近所相互の交流が図れ、本来の使用手順習得に加え、いざという時に備えた人の繋がりを強化させるものになると考えています。

当防災部会では、引き続き自主防災組織の設立啓蒙や新組織への防災資機材配備を支援して、来年度の防災合同の訓練を目指します。



◆ ケーブルテレビ取材 ◆

10月16日(金)

池田駅前公園

防災訓練展示



インタビューを受ける
安田協議会長

池田地域コミュニティ推進協議会に対し、ケーブルTV取材要請で、4自主防災会への倉庫、資機材等配布完了を踏まえ、防災活動の急遽取材を大和町防災会が担当した。

突然の依頼に拘わらず設営準備に加え、幸い好天に恵まれ会員22(内女性13)名が参加、建石・城南・ザライオンズ、3防災会役員方々の協力で、各防災倉庫の展示並びに資機材の披露及び非常食の炊き込みを、実際に機器を使用する作業を行ない、参加者の防災時での行動を含め、その意識向上に繋がり、意義ある活動の取材協力ができたのではないかと確信した。



機材を使つての非常食炊込み訓練

← 防災倉庫

↓ 防災資機材(一部)



〔 自主防災組織の普及に向けて 〕

関西大学政策創造学部
3年次生 平 知美

今回、池田地域コミュニティ推進協議会の防災部会に参加させていただき、初めて”自主防災”というキーワードに触れ、知識を深めていくことで、その重要性を実感することができました。

今年8月に静岡県で発生した比較的大きな地震であったにも拘わらず、その規模の割りに被害は大きくなりませんでした。これは自主防災組織が機能したことが要因といわれています。又静岡県は、自主防災組織の普及率が96.8%と、愛知県に次ぐ全国2位となつています。なかでも2007年時点で、家具の固定率も、全国平均24.3%を上回る63%と高く、このことが今回の地震において被害の減少に至ったと言われています。

それ故、私は何時起こりうるか解らない災害に対し、日頃から備えておくことが大切か、もっとこの自主防災組織を日本全地域に普及させていくべきであると痛感致しました。その為には既存の地域からの発信していくことが重要で、この池田コミュニティから発信できればと思います。しかしこの池田コミュニティでは組織はあるものの、部会での出席者が少ない等、充実には至っていないと感じました。この素晴らしい組織を、地域住民のご理解ご協力のもと多数の方々の参加で、継続と共に発展されることを願います。

22年度池田地域コミュニティ推進協議会

事業提案中「防災」に関する
ご提案及びご意見の報告です。

◇ 自治会・町会員 ◇

- 1 AED配備を公共施設だけでなくコンビニなど営業時間の長い場所の協力で配備。
- 2 防災備品設置事業の継続
- 3 上池田地区の自主防災組織の確立で、防災資機材の配備についての支援。
- 4 ハザードマップの作成、避難場所の周知。
- 5 「アッパクン」などの救命指導。

◇ 協議会理事・会員 ◇

- 1 池田市内公衆トイレの多目的トイレ（車イス）は随時使用が可能ですか。
- 2 指定避難所での避難可能人数が把握できているか、保管されている防災諸機材や非常食及び食数、衛生医療用品数などの把握は？
- 3 避難所への案内掲示板がありますか、又防災安全マップの作成を提案します。

以上のご提案ご意見は、池田市への「事業提案書」に添えて提出させていただきました。有難うございました。



防災豆知識 その 2

◇ 地震に備えてわが家では ◇

もしもの時に備えて、日頃から防災のための準備をしておくことが大切です。

大地震が起きた…さあ…どうしよう

…地震の被害は最小に…

- 1 ★ まずはわが身の安全を !!
いざその時、テーブルの下や隣室など、緊急避難出来る所を確認しておきましょう。
- 2 ★ すばやく火の始末を !!
いざその時、ガス器具やストーブなど緊急防火の対応が出来ますか、日頃からガスレンジ等火元付近の整理整頓をしておきましょう。
- 3 ★ 戸をあけて出口確保を !!
いざその時、貴方や家族は何処から逃げ出しますか、玄関や出口は安全でしょうか。

参考文献 大阪府「わが家の地震対策」
消防科学センター「地震に自信を」から

- 4 ★ 火が出たらすぐ消火を !!
火が出た！いざその時、貴方はすぐ消火活動が出来ますか、消火器は、非常用バケツは、風呂場の溜め水は。
- 5 ★ 外へ逃げる時はあわてずに !!
いざその時、室内で履物はすぐ取り出せますか、屋外では頭の上や周辺は安全ですか、瓦やガラス等の落下物は、ブロック塀が無いが、日頃から家周辺の安全を知っておきましょう。
- 6 ★ 避難は徒歩で、荷物は最小限で !!
いざその時、近くの広場や小公園など緊急避難出来る場所を知っていますか、非常食、飲物水は、救急箱など日頃から非常持出品の準備をしていますか。
- 7 ★ 緊急情報を聞こう !!
いざその時、テレビの緊急地震情報を知ることが出来ますか、携帯ラジオの準備は出来ていますか、電話や携帯電話で災害時伝言ダイヤルをかけることが出来ますか。

〔 防災ミニクイズ 〕

今回は非常食は最低何日程度が必要でしょうか

答えは………② 3日

今回の問題 非常用伝言ダイヤルは何番でしょうか

- ① 110 ② 119 ③ 171 ④ 199

